

科目	臨床心理アセスメントⅠ(心A)	単位数	2
担当教員	永田 俊代、大西 見也子		
履修対象	臨床心理学科2年春学期		
目的	臨床場面で使われることの多い代表的なアセスメントを体験し、施行法、解釈法の実際を学びます。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)臨床アセスメントに関心を持つ。 (2)倫理について注意を払うようになる。 「思考・判断」 (1)臨床心理アセスメントを体験し、検査者の役割や姿勢が分かるようになる。 (2)臨床心理検査を受けるクライアントの気持ちが分るようになる。 「技能・表現」 (1)質問紙法を中心に具体的な施行法を修得する。 (2)心理所見の書き方を習得する。 「知識・理解」 (1)質問紙法を中心に臨床心理アセスメントとは何かが分かる。		
授業計画			
1	授業のオリエンテーション/臨床心理アセスメントとは何かを説明します(担当:永田)。		
2	Y-G(矢田部ギルフォード)の実習と解釈について説明します(担当:永田)。		
3	NEO-FFI について概説します(担当:永田)。		
4	NEO-FFI の実習と解釈について説明します(担当:永田)。		
5	新版TEGⅡの概説について、ビデオ鑑賞を行います(担当:永田)。		
6	新版TEGⅡの実習と解釈について説明します(担当:永田)。		
7	臨床心理アセスメントⅠ前半のまとめ/事例の紹介と事例に即したアセスメントの留意点などについて解説します(担当:永田)。		
8	インテーク面接とは何かを説明します(担当:大西)。		
9	内田クレペリン精神検査について概説します(担当:大西)。		
10	内田クレペリン精神検査の実習と解釈について説明します(担当:大西)。		
11	CMI 健康調査票、STAI の実習と解釈について説明します(担当:大西)。		
12	P-Fスタディについて概説します(担当:大西)。		
13	P-Fスタディの実習と解釈について説明します(担当:大西)。		
14	臨床心理アセスメントの倫理、春学期に紹介したアセスメントのまとめをします(担当:永田・大西)。		
15	春学期に紹介したアセスメントの振り返りと授業内試験を実施します(担当:永田・大西)。		
授業形態／具体的な内容	複数のクラスで進めるため、取り上げるテストの順番が前後することがあります。 講義だけではなく、実習形式の体験学習が中心となります。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
参考書			
成績評価の基準・方法	授業態度、提出物、授業内試験などにより総合的に評価します。		
留意点	授業で使用する心理テスト用紙を大学の指示に従って購入し、毎回持参して本講義に望むこと。 授業で配布したプリントは紛失しないように管理し、毎回持参して本講義に望むこと。		
準備学習	特に予習は必要としませんが、復習を確実に履行して下さい。		
備考			No. PY422001